

## I. 概況

平成28年度における我が国の経済状況は、アベノミクスの取組の下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いたが、年度前半には海外経済で弱さがみられたほか、国内経済についても、個人消費及び民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となった。

近畿圏における状況をみると、まず、関西国際空港については、平成28年の旅客数は前年比9%増の2,523万人となり、平成6年の開港以来過去最高となった。そのうち、外国人旅客数は前年比21%増え、1,216万人と過去最高となった。

また、LCC国際線専用第2ターミナルビルが国際線専用となり1月28日開業され、従来の第2ターミナルを国内線専用とし、増大する航空需要を確実に取り込む機能拡大策が展開されているところである。

大阪駅周辺地区では、大型複合施設「グランフロント大阪」は、平成25年4月の開業以来順調に集客を伸ばしており、4年弱で累計2億人を突破し、にぎわいの更なる拡充が図られるよう周辺では再開発が次々と本格化している。その周辺再開発地区である「うめきた2期区域」については、「みどり」と「イノベーション」の融合拠点を目指し「うめきた2期まちづくり基本方針」に基づき、JR東海道線地下化及び新駅設置事業や公園整備事業等が進められてきたところである。

一方、阿倍野・天王寺地区では、日本一の高さの高層ビル「あべのハルカス」の来場者数が9月1日で累計1億人に到達した。平成26年3月の全面開業から910日目、約2年半での達成となり、開業以来順調に推移している。両地区による都市機能の充実、交通ターミナルとしての魅力向上、さらに経済活性化等により大阪府内はもとより、周辺地域に大きな経済波及効果をもたらしてきたところである。

このような状況の中で、当センターは関西圏における交通運輸、観光事業の発展と経済社会の発展に資するよう、関係機関のご指導の下に日本財団をはじめ賛助会員並びに業界団体等の皆様からのご支援をいただき次のとおり、各種の事業を積極的に推進してきたところである。

平成28年度の交通経済に関する調査研究事業については、日本財団による助成事業としての「海学び舎」あらかると啓発事業を前年度に引き続き実施したほか、関係社団・財団、業界団体等からの受託調査研究事業等を実施しました。その中には、当センターの主要な組織であるTSD運輸安全マネジメント支援センターが事業の推進に係る受託も含まれている。次に交通経済に関する講演会等の開催については、毎年1月の災害対策シンポジウムの開催のほか、サロンセミナー、かんこうけんコロキウム等を実施した。

また、次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘する懸賞論文募集事業については、11件の応募があり、優秀賞2件を選定し、表彰した。このほか、文献その他出版物の刊行として、関西交通経済ポケットブック2016年版及び機関誌「関交研」春季号・秋季号を刊行した。

## II. 事業報告

### 1. 交通経済に関する調査研究

#### A. 日本財団助成事業・・・1件

平成28年度「海と日本プロジェクト2016 サポートプログラム」として、『「海学び舎」あらかると啓発事業』が承認され、下記概要のとおり実施した。

#### 《概要》

「海学び舎」あらかると啓発事業

#### 【事業内容】

##### ①神戸港事業：「神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会」の開催

神戸市と南あわじ市小学生を対象に、海から神戸港を視察し、また、神戸海洋博物館において、神戸の海、船、港の過去、現在、未来を体験学習する交流学習会を開催。

##### ②大阪港事業：「海・船のお話会と海の環境学習や体験型見学会」の開催

大阪港を拠点として、小学生高学年を対象に、大阪港を含めた海洋生物の生態系、絶滅品種などの学習を通して海洋環境の大切さを学び、また、普段見ることができない旅客船船内の見学、船員さんの仕事の役割や重要性などの学習、そして、海から見る、いつもとは違う目線から大阪港や沿岸の街並みなどを体感する体験型見学会を開催。

#### 【成果】

##### ①神戸港事業

開催日：平成28年7月1日（金） 8:40～16:00

場所：神戸中突堤及び神戸港周辺

参加者：109名

神戸市立大池小学校	5年生	52名
南あわじ市立倭文小学校	5年生	17名
南あわじ市立湊小学校	5年生	8名
南あわじ市立市小学校	5年生	31名
南あわじ市立三原志知小学校	5年生	1名



#### 実施内容

##### (1) 神戸港クルーズの実施

造船所やガントリークレーンが林立し、接岸する巨大なコンテナ船にコンテナを積み込む作業などを身近に観察した。

・使用船舶 「ロイヤルプリンセス」(414G/T、定員500名)

・神戸港の視察ルート

神戸中突堤発→ポートアイランド→六甲アイランド→神戸空港沖→神戸中突堤着

##### (2) 神戸海洋博物館とカワサキワールドの見学

##### (3) 交流学習会（学校紹介、クイズ大会）

## ②大阪港事業

開催日：平成28年7月7日（木） 8:30～15:30

場所：大阪港天保山岸壁及び大阪港内

参加者：151名

大阪市立田中小学校	5年生	54名
大阪市立築港小学校	6年生	34名
大阪市立八幡屋小学校	5年生	32名
大阪市立八幡屋小学校	6年生	31名



### 実施内容

#### (1) 「サンタマリア号」の船内見学

- ・船長講話：操船する人々の仕事の内容や役割、大阪港を出入りする船の種類など
- ・ロープワーク：舳結びなど、基本的なロープの結び方の体験
- ・救命胴衣の着用体験：救命胴衣の着用の仕方、役割、特徴、着用時の飛び込み方などを解説し、二人一組で着用体験
- ・船内探検：4層に分かれる船内を、乗組員の解説の下、見学して回る

#### (2) サンタマリアに乗って大阪港内クルーズ体験

潮風を感じながら、大阪港を行き交う様々な船や、海から見るいつもとは違う目線から大阪港や沿岸の街並みの様子を楽しんだ。



ロープワーク体験

#### (3) 海洋学習の実施

- ・場所：天保山船客ターミナル会議室
- ・テーマ：海の大切さと船員の仕事
- ・講師：近畿内航船員対策協議会 会長 上窪 良和 氏



海遊館ホール

#### (4) 環境学習の実施

- ・場所：海遊館ホール
- ・内容：大阪湾の生物について
- ・講師：海遊館飼育展示部普及交流チーム  
副参事 北藤 真人 氏

#### (5) 海の生物観察

「海遊館」に入館し、「探検ノート」を片手に海の生物を観察した。特に、海の生物との触れ合いでは、「サメ」や「エイ」に直に触れるなど、その感触を確かめた。



海遊館前参加者集合写真

## B. 受託調査研究事業等・・・11件

### 《概要》

#### (1) 近畿スマートエコ・ロジ協議会

～近畿における大気環境・地球温暖化対策等に関する調査及び発信～

#### 【事業内容】

近畿における大気環境の改善や地球温暖化対策に資するとともに、石油依存からの脱却を目指すもっとも実用的な黒煙を排出しない天然ガス自動車や電気自動車等の次世代低公害車の普及を内外に発信することや情報交換等を行うための調査研究を実施した。

#### 【成果】

##### ・環境対応車普及促進の実施

##### ①奈良県トラック協会主催法令順守セミナー

開催日：平成28年8月4日（木）

場 所：奈良県トラック会館

内 容：エコロジ活動内容紹介、パネル展示、各種補助制度説明等

参加者：105名

##### ②兵庫県トラック協会主催 平成28年度トラックの日イベント

開催日：平成28年10月9日（日）

場 所：神戸ハーバーランド

内 容：環境パネル展示、トラックペーパークラフト作成等

来場者：約2,000名

##### ③大阪府トラック協会主催 トラックフェスタ2016

開催日：平成28年10月16日（日）

場 所：万博記念公園

内 容：環境パネル展示、トラックペーパークラフト作成、大型CNG車展示等

来場者：約25,000名

##### ④和歌山トラック協会主催 トラックの日交通安全フェスティバル

開催日：平成28年10月30日（日）

場 所：和歌山ビッグホエール

内 容：環境パネル展示、トラックペーパークラフト作成、大型CNG車展示等

来場者：約5,000名

##### ⑤滋賀県トラック協会 琵琶湖環境ビジネスメッセ2016

開催日：平成28年10月30日（日）

場 所：長浜バイオ大学ドーム

内 容：環境パネル展示、トラックペーパークラフト作成等

来場者：約29,000名

##### ⑥兵庫県トラック協会主催 平成28年度環境と物流を考えるフォーラム

開催日：平成28年11月24日（木）

場 所：兵庫県トラック総合会館

参加者：100名

### ⑦京都環境フェスティバル2016

開催日：平成28年12月12日（土）～13日（日）

場 所：京都パルスプラザ

内 容：環境パネル展示、トラックペーパークラフト作成等

来場者：約25,000名

- ・ 広報活動として、近畿スマートエコ・ロジ協議会のホームページ掲載及びリーフレットの作成を行い、低公害車の普及促進に努めた。

## (2) TSD運輸安全マネジメント支援センター事業の推進

### 【事業内容】

- ・ 運輸の安全確保を最重要課題として発足した「運輸安全マネジメント制度」は10年を経過し、大手・中堅事業者については取り組みが定着し一定の成果を挙げているが、更にその成果を拡大していくためには、特に中小規模事業者への普及・啓発をより推進していく必要がある。
- ・ 国においては、「運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会」と協調し、中小規模事業者を主な対象とした運輸安全マネジメント認定セミナーのガイドラインを新たに作成した。TSDにおいても本教材を積極的に活用し従前にも増して、中小規模事業者の安全意識の醸成に努めた。今後更に認定セミナーを充実させるため、リスク管理（基礎）の認定取得を目指す為の勉強会を実施した。
- ・ 昨年1月の貸切バス重大事故を契機に、貸切バス事業者に対する安全が強化され、運行管理者資格者証を取得した者でなければ運行管理者として選任できないこととなったことから、資格取得に向けた運行管理者試験事前講習会を開催した。
- ・ TSDでは中小規模事業者を対象として出前講座、セミナーを展開する中で、事業者個々の安全意識を高め、さらには事業規模に見合った運輸安全マネジメント構築のためのコンサルティング等を行うなど、きめ細かい支援を行った。

### 【成 果】

- ・ 事故防止等安全対策マニュアルの普及  
出前講座・セミナー等で活用するとともに、近畿管内のバス・タクシー・トラックの各団体に対し普及に努めた。
- ・ 運輸安全マネジメント出前講座及びセミナー（講師派遣）の開催  
開催回数：7回 《延べ参加者 278名》
- ・ 運輸安全マネジメント認定セミナーの開催  
開催回数：8回 《述べ参加者 495名》  
ガイドライン：ガイドライン 3回 173名  
： 中小向けガイドライン 2回 183名  
内 部 監 査： 3回 139名
- ・ 運行管理者試験事前講習会の開催  
開催回数：3回 《述べ参加者 313名》



認定セミナー

### (3) 事業者参加型エコプロジェクトの取り組み

#### 【事業内容】

- ・ (一社)兵庫県トラック協会では、環境物流に関する調査研究を継続的に実施しており、その研究成果を活用しながら毎年、環境フォーラムを開催し、会員事業者や一般県民に対して、業界の環境負荷低減に向けた取り組みを広く広報してきた。
- ・ これまでの検討のなかで、トラック事業者がさらに環境対策を進めていくには、その成果を「見える化」することで環境負荷の低減効果を事業者自身が実感することに加え、荷主を含め世間に広く理解していただく必要があることが重要であることが明らかになっている。
- ・ そのような中、平成24年度、「事業者参加型エコプロジェクト」を立ち上げ、燃費データ等の検証、簡易計測シートの開発、全会員事業者に対しアンケート調査の実施等を行い、平成28年度は、その効果を検証することと併せ、エコプロジェクトの更なる広がりを図るために事業者アンケート調査を引き続き実施した。  
また、会員事業者の燃費改善の効果的な事例や燃費改善がもたらす効果などをリーフレットとして、プロジェクトの拡大をめざし全会員事業者に配付した。

#### 【成 果】

- ・ 平成28年11月24日(木)兵庫県トラック会館において、全会員事業者に対するアンケート調査の中間報告を行い、兵庫県トラック業界及び事業者の環境改善への取り組みの有効性を広く知っていただくことを目標に「環境と物流を考えるフォーラム」を開催した。  
参加者は物流事業者を中心に100名であった。
- ・ フォーラムの内容は「事業者参加型エコプロジェクトに関する調査報告書」として取りまとめ関係者等に配付した。



### (4) 地域のバス交通等のあり方に関する調査 ～望まれる交通ネットワークの組立～

#### 【事業内容】

路線バスは、高齢者や学生など地域住民の日常的な移動手段としての役割は大きく、また、その地域を訪れる観光客の周遊手段としての期待が高まる一方、就労人口の減少、少子高齢化、マイカーの普及等により、厳しい経営環境に置かれている。

特に、バス運転者の不足については、深刻な問題であり、運転者の確保及び育成等の課題に対処するため、全国のバス事業の中から先進的な取り組みを実施している事業者を調査し、今後の安定した運転者確保やバス交通のあり方について考察した。

#### 【成 果】

バス運転者の確保・育成を考えるシンポジウム ～明日の公共交通を拓く「人づくり」～

開催日：平成29年2月3日(金)

場 所：大阪科学技術センター 8階大ホール

基調講演：ドライバー確保に向けた魅力ある職場と企業ブランドの構築

講 師：井上 学 氏(平安女学院大学国際観光学部 准教授)

基調講演：バス業界における人材不足の実態と対処方策について

講 師：小坂 真弘 氏(日本PMIコンサルティング(株) 代表取締役社長)

事例紹介：多様な人材が活躍できる環境の整備を目指して  
講師：尾上 勝政 氏 (宮崎交通㈱ 乗合部長)  
参加者：217名

## (5) 幼稚園児向け交通環境教室

### 【事業内容】

日常生活に密着した公共交通機関であるバスについて、身近な乗り物で環境にやさしいことなどについて、保護者とともに学び、その重要性について、理解を深めるためバスや駅などについて調査し、これらを活用した体験型交通環境教室を開催した。

### 【成 果】

交通環境教室の開催

開催日：平成28年10月13日(木)

場 所：大阪市立愛珠幼稚園

大阪市交通局中津営業所

参加者：園児21名(年長)及びその保護者

内 容：バスによるお出かけプラン作成、中津営業所見学等



## (6) 手話教室

### 【事業内容】

交通エコロジー・モビリティ財団のご支援を得て、聴覚障害者の方と交通運輸事業従事者とのコミュニケーションの場を広めるための「手話教室」を25回開催し、聴覚障害者への理解と接遇の向上による移動円滑化の推進を図った。

### 【成 果】

今年度は鉄道、バス等の10事業者から19名が受講し、19名全員が修了した。

## (7) 交通事業者向けバリアフリー教育訓練 (BEST研修)

### 【事業内容】

高齢者・障害者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現することと、障害者等移動制約者への理解を深める目的で、障害当事者等が講師として交通事業従事者を対象に接遇・介助の知識と技術を伝えるための教育訓練を実施した。

(訓練内容)

1. 障害のある方や高齢のお客様に対する接遇・介助の基本知識やコミュニケーションの基本を習得
2. より深く障害を理解する
3. 障害のある方との意見交換を通し、それぞれの立場の相互理解や知識の共有化を図る
4. 具体的な接遇や介助技術を身につける
5. 様々なお客様のニーズを感じ取る「気づきの心」を磨く



車いす乗降体験



視覚障害者乗降体験

## 【成 果】

今年度は3回研修会を開催し、21事業者（鉄道、バス）から71名が受講し、全員修了した。

開催日：平成28年7月28日(木)・29日(金)

場 所：難波市民学習センター

参加者：23名（鉄道14名、バス9名）：

開催日：平成28年11月28日(月)・29日(火)

場 所：神戸国際会館セミナーハウス

参加者：30名（鉄道30名：神戸市交通局研修）

開催日：平成29年 1月11日(水)・12日(木)

場 所：兵庫県立福祉のまちづくり研究所

参加者：18名（鉄道8名、バス10名）

## (8) バリアフリー推進勉強会

### 【事業内容】

移動円滑化に対するテーマや課題について、学識者、障害当事者、交通事業者、行政、各メーカー等関心のある方々との情報共有をし、改善の方向性を共に考えることを目的に、今年度はワークショップを3回開催した。

## 【成 果】

### 第3回

テ ー マ：2020年に向けてバリアフリー対策の現状と関西におけるこれからの課題

開催日：平成28年4月25日(月)

場 所：中央電気倶楽部 5階511号室

基調講演：IPCガイドラインとパラリンピックアスリートの活動実態

講 師：松田 雄二氏（東京大学大学院 准教授）

取組報告：大会準備におけるバリアフリー対策の進捗と課題

講 師：中南 久志氏（東京オリパラ競技大会組織委員会 統括部長）

取組報告：2020年東京大会に向けた提言

講 師：佐藤 聡氏（DPI 日本会議 事務局長）

参加者：97名



### 第4回

テ ー マ：ターミナル駅におけるサイン表示の現状と課題

開催日：平成28年10月26日(水)

場 所：中央電気倶楽部 5階511号室

基調講演：ユニバーサルデザインを考えよう

講 師：岩田 三千子氏（摂南大学 教授）

取組報告：バリアフリーな移動のための案内支援について

講 師：岡田 光央氏（NPO法人 まちの案内推進ネット 理事長）

取組報告：ターミナル駅のサイン表示事例と考察

講 師：山名 勝氏（アクセス関西ネットワーク 運営委員）

参加者：131名





## 第5回

テーマ：ほじょ犬のことをもっと知ろう ～盲導犬ユーザーの移動と外出～

開催日：平成29年3月8日(水)

場所：中央電気倶楽部 5階ホール

講演：盲導犬ユーザーと出会ったら？

講師：久保 ますみ 氏（(公財)関西盲導犬協会フォロー相談担当）

講演：私と異文化コミュニケーションしませんか？

講師：森永 佳恵 氏（盲導犬ユーザー）

参加者：69名



## (9) 第10回自動車事故防止セミナー

### 【事業内容】

自動車運送事業においては、中小規模事業者が圧倒的多数を占め、自らの能力だけで安全対策の充実を図るには様々な障害や課題を克服しきれないのが現状である。

本セミナーでは、「安全・安心な事業用自動車の運行を実現するために」と題して軽井沢のスキーバス事故を受けて、「軽井沢スキーバス事故対策検討委員会」でとりまとめた「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」の進捗状況からハード面、ソフト面の事故防止対策事例などを紹介し、事故防止の意識の向上を図ることを目的に開催した。



### 【成果】

開催日：平成29年1月19日(木)

場所：ドーンセンターホール（大阪府立男女共同参画・青少年センター）

テーマ：安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策について

講師：高橋 信博 氏（国土交通省自動車局 安全政策課 課長補佐）

テーマ：道路運送法改正の概要について

講師：新屋敷 昭一 氏（近畿運輸局 自動車交通部 旅客第一課 課長）

テーマ：ドライブレコーダー及び適性診断結果を活用した運転者教育について

講師：栢多 浩一郎 氏（独立行政法人 自動車事故対策機構 大阪主管支所

アシスタントマネージャー）

テーマ：運転者の指導監督指針改正に係る我社の取組について

講師：正木 明夫 氏（梅田運輸倉庫株 安全管理部 専任部長）

参加者：320名

## (10) 交通関係環境保全優良事業者等表彰式及び記念講演

### 【事業内容】

地域の実情に応じた環境対策の専門的見地からの講演や環境対策の先進的関係事業者（トップランナー）の事例報告等を通して、地方自治体、運輸関係者や自動車関連事業等に携わる各層の方々に、より高い関心を与えることを目標に講演会を開催した。

## 【成 果】

開催日：平成28年9月2日（金）

場 所：大阪歴史博物館 4階講堂

記念講演：環境と物流を考えると

講 師：山田 忠史 氏（京都大学経営管理大学院 准教授）

事例紹介：富士運輸株

～ICTを活用した運送効率化などによるCO2削減～  
横浜冷凍株

～環境にやさしい最先端の技術を集約した冷蔵倉庫～  
南太秦自治連合会・京都市左京区役所

～地域住民主体のモビリティ・マネジメントの継続的  
実施によるバスの利便性向上～

参加者：161名



受賞者

## （11）運輸安全マネジメントシンポジウム2017

### 【事業内容】

平成28年1月に長野県軽井沢町で発生したスキーバス転落事故を踏まえ、安全・安心な貸切バスの運行を実現する対策として、従来の報告型シンポジウムから一步踏み込んだ内容とするため、パネルディスカッションでは事業者が取り組んだ運輸安全マネジメントの取組効果と現状や課題を明らかにするとともに、事業者が克服すべき課題等への対策やアドバイス等の議論を行い、本シンポジウムを通じて実効性のある「安全管理体制」の構築に向けた取組みの深度化を目指すことを目的に開催した。



## 【成 果】

開催日：平成29年2月23日（木）

場 所：クレオ大阪東 ホール（大阪市立男女共同参画センター 東部館）

テーマ：運輸安全マネジメント制度に係る取組の現状及び貸切バスの規制について

講 師：柳井 達雄 氏（国土交通省 近畿運輸局 自動車監査指導部 次長）

テーマ：安全文化、安全風土の醸成：現状と課題

講 師：尾入 正哲 氏（中京大学 心理学部 応用心理学領域 教授）

参加者：205名

## （12）検査標章のRFIDを活用した自動車検査の高度化検証に係る調査

### 【事業内容】

自動車検査標章RFID化の実用化に関するシステムを構築し、その課題等の抽出及びシステムについて調査を行い、自動車検査・整備の高度化・効率化に繋げる提案を実施した。

## 【成 果】

### ・委員会の開催

第1回委員会 平成28年10月14日（金）

第2回委員会 平成28年12月12日（月）

第3回委員会 平成29年3月13日（月）

### ・実証実験の実施

第1回実証実験 平成28年11月14日（月）～15日（火）

第2回実証実験 平成29年2月7日（火）～9日（木）

### ・検証結果

#### (1) 検査の高度化

検査標章RFIDに車両のキー情報を格納し、活用することで、車両と様々なシステムで保有する各種データとの紐づけが容易となり、検査においてデータ連携を行うための仕組みを構築することが可能となる。

#### (2) 検査の効率化

- ・ 検査標章 RFIDに格納されている車両のキー情報を基に、自動車登録検査業務電子情報処理システム（以降、MOTASとする）とデータ連携することで車両情報を取得し、同一性の確認等における検査手順の簡略化を図ることが可能となる。
- ・ 検査標章 RFIDに格納されている車両のキー情報を基に、高度化システムとデータ連携することで、電子自動車検査票を発行することが可能となり、紙媒体の自動車検査票の発行が不要となる。
- ・ 電子自動車検査票が発行されることで、検査官および受験者が検査結果を記録する作業が不要となる。

#### (3) 結果

自動車検査標章RFID化実証実験の結果より、安定した検査標章RFIDの読み取りが可能であると実証を確認した。

## (13) 事業者参加型エコプロジェクト推進事業にかかる広報誌の作成

### 【事業内容】

事業者参加型エコプロジェクトの取り組みで、会員事業者の燃費改善の効果的な事例や、燃費改善がもたらす効果などのPR誌を作成した。

### 【成 果】

「トラック事業者のための燃費の処方箋」の作成

部 数：3,500部

内 容：エコプロジェクトの概要、燃費改善の方策、座談会の概要、先進事例紹介等

配 付：兵庫県トラック協会全会員に配付

## 2. 交通経済に関する講演会等の開催

### ○ サロンセミナー

日 時 : 平成 29 年 2 月 20 日 (月) 14:00~16:00

場 所 : 大阪キャッスルホテル 7F

テーマ : わが国のクルーズ事情

講 師 : 入谷 泰生 氏 (日本クルーズ客船株 代表取締役社長)

参加者 : 83 名

#### ・開催主旨

世界のクルーズ人口は、近年急速に増加し、2014 年は 24,000 千人、10 年前 (2005 年) と比較すると約 1.5 倍となっている。また、アジア地域の経済の急成長に伴う所得増、船の大型化による低コスト化等によりクルーズ観光の需要増大が続いており、アジア以東のアジアだけで 2020 年には 380 万人に達するものと予測されている。

大型クルーズ船の寄港における地域への経済波及効果は 1 寄港あたり数億円とも試算されており、クルーズ船が地域経済にもたらす恩恵は極めて大きく、地方創生への貢献度も高いものと思われる。

一方、我が国のクルーズ利用者は、近年若干の伸びはあるものの 20 万人~24 万人とほぼ横ばい状態である。これは、クルーズに対する社会一般での認識度の低さ、長期休暇取得の難しさやクルーズの内容や魅力がよく理解されていないことなどが指摘されている。

今回のサロンセミナーでは、外航クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」を運航する日本クルーズ客船株の入谷社長をお迎えし、クルーズへの理解、日本のクルーズ商品の魅力、楽しみ方など、今後のクルーズ振興の具体的方策などについて講演頂いた。



### ○ 国土交通白書説明会

日 時 : 平成 28 年 10 月 3 日 (月) 14:00~15:30

場 所 : 大阪合同庁舎第 1 号館 第 1 別館

テーマ : 平成 27 年度国土交通白書の説明

講 師 : 渡瀬 友博 氏 (国土交通省 総合政策局政策課 政策調査室長)

坂崎 有理 氏 (国土交通省 総合政策局政策課 政策調査室 企画係長)

参加者 : 174 名

### ○ 災害対策シンポジウム

日 時 : 平成 29 年 1 月 17 日 (火) 13:30~16:30

場 所 : テイジンホール

テーマ : 災害リスク・コミュニケーションの課題と現状

講 師 : 矢守 克也 氏 (京都大学 防災研究所

巨大災害研究センター 教授)

テーマ : 命を守る防災情報提供の取り組み

講 師 : 多田 英夫 氏 (大阪管区气象台 気象防災部長)

参加者 : 144 名



・開催主旨

東日本大震災以降、地震や津波など自然災害への防災・減災の意識は高まりつつあるが、関西圏においては南海トラフ巨大地震の発生等も懸念されており、大規模自然災害に備えた広域的な防災体制の強化等が急務となっている。

そこで、今後想定される大規模自然災害からの被災を最小限に抑える防災・減災対策を中心に現状の危機対策と今後の課題など、広く認識を共有することを目的にシンポジウムを開催した。

○ 物流講演会

日 時 : 平成 29 年 2 月 9 日 (木) 13:10~16:00

場 所 : 国民會館 武藤記念ホール

テーマ : パワーバリアレス社会への挑戦

講 師 : 藤本 弘道 氏 (アクティブリンク(株) 代表取締役社長)

テーマ : 最新の技術とマーケティングリサーチで輸送効率をアップする方法

講 師 : 松岡 弘晃 氏 (富士運輸(株) 代表取締役社長)

テーマ : 自動車運転を巡る国内・国際動向

講 師 : 松崎 義廣 氏 (近畿運輸局 自動車技術安全部 技術課長)

参加者 : 245 名

○ かんこうけんコロキウム

【第 26 回】

日 時 : 平成 28 年 7 月 13 日 (水) 18:00~19:30

場 所 : 大阪キャッスルホテル

テーマ : 鉄道政策 ー鉄道への公的関与についてー

講 師 : 盛山 正仁 氏 (神戸大学 博士(法学・商学)、  
法務副大臣兼内閣府副大臣)

参加者 : 52 名



【第 27 回】

日 時 : 平成 28 年 8 月 26 日 (金) 17:30~18:30

場 所 : 近畿陸運協会会議室

テーマ : 鉄道の防災・安全対策について

講 師 : 江口 秀二 氏 (国土交通省 鉄道局 施設課長)

参加者 : 27 名



【第 28 回】《懸賞論文表彰式・入選論文プレゼンテーション》

日 時 : 平成 29 年 3 月 1 日 (水) 18:00~19:30

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

テーマ : 国際航空輸送からみたアジア主要都市の拠点性の検証

ー関西国際空港を活用した大阪の国際都市戦略に向けた提言ー

発表者 : 堂前 光司 氏 (神戸大学大学院)

テーマ : 勝手踏切の現状と対策 ～J R西日本奈良線を例に～

発表者 : 西 和基 氏、大谷 和輝 氏 (関西大学)

参加者 : 26 名



### 3. 懸賞論文( 提案・提言 )の募集事業

次世代を担う方々の叡智を通じて当センターの調査研究における新たな切り口を発掘し、近畿圏における運輸交通・観光事業の一層の発展と地域社会の活性化に寄与すべく、平成20年度から懸賞論文事業を実施している。

今年度は1自治体、4大学から11件の応募があり、優秀賞2件を選定し表彰した。

- 優秀賞 国際航空輸送からみたアジア主要都市の拠点性の検証  
—関西国際空港を活用した大阪の国際都市戦略に向けた提言—  
神戸大学大学院 堂前 光司 氏
- 優秀賞 勝手踏切の現状と対策 ～J R西日本奈良線を例に～  
関西大学 西 和基 氏、大谷 和輝 氏

### 4. 文献その他出版物の刊行

- 「関西交通経済ポケットブック」の刊行  
「関西交通経済ポケットブック2016年版」を刊行し、賛助会員、関係機関及び研究機関に配布したほか、一般に広く頒布した。



- 機関誌「関交研」の発行  
2016年春季号(133号)及び秋季号(134号)を発行し、賛助会員等に配付した。

#### 【主な掲載内容】

(133号)

- ・平成27年度 第10回サロンセミナー 「地域公共交通再生の実現に向けて」
- ・第24回 かんこうけんコロキウム 「クリエイティブ・ツーリズムによる地域活性化」
- ・平成27年度 かんこうけん懸賞論文 表彰式
- ・第25回 かんこうけんコロキウム 「かんこうけん懸賞論文の発表」  
入選論文1 「世界の第二層都市の比較分析に基づく大阪の交通戦略の提案」  
入選論文2 「踏切事故低減のための分析と提言」
- ・平成27年度 懸賞論文審査報告

(134号)

- ・所感 近畿運輸局長
- ・所感 神戸運輸監理部長
- ・第26回 かんこうけんコロキウム 「鉄道政策—鉄道への公的関与について—」
- ・第27回 かんこうけんコロキウム 「鉄道の防災・安全対策について」
- ・平成28年度 交通関係環境保全優良事業者等局長表彰
- ・海と日本プロジェクト2016  
神戸市・南あわじ市小学生の海に親しむ交流学習会  
海・船のお話会と海の世界学習や体験見学会



平成28年度調査研究事業一覧表

番号	事業名	受託先
A	「海学び舎」あらかると啓発事業	(公財)日本財団
B - (1)	近畿スマートエコ・ロジ協議会 ～近畿における大気環境・地球温暖化対策等 に関する調査及び発信～	(一社)近畿トラック協会
B - (2)	TSD運輸安全マネジメント支援センター 事業の推進	(一財)近畿陸運協会
B - (3)	事業者参加型エコプロジェクトの取り組み	(一社)兵庫県トラック協会
B - (4)	地域のバス交通等のあり方に関する調査 ～望まれる交通ネットワークの組立～	(一財)近畿陸運協会
		近畿バス団体協議会
B - (5)	幼稚園児向け交通環境教室	(一財)近畿陸運協会
B - (6)	手話教室	(公財)交通エコロジー・ モビリティ財団
B - (7)	交通事業者向けバリアフリー教育訓練 (BEST研修)	(公財)交通エコロジー・ モビリティ財団
B - (8)	バリアフリー推進勉強会	(公財)交通エコロジー・ モビリティ財団
B - (9)	第10回自動車事故防止セミナー	(一財)近畿陸運協会
B - (10)	交通関係環境保全優良事業者等表彰式及び 記念講演	(一財)近畿陸運協会
B - (11)	運輸安全マネジメントシンポジウム2017	(一財)近畿陸運協会
B - (12)	検査標章RFIDを活用した自動車検査の 高度化検証に係る調査  (協賛)	(株)キリック
		NTTデータアイ(株)
B - (13)	事業者参加型エコプロジェクト推進事業に かかる広報誌の作成	(一社)兵庫県トラック協会